

社会貢献 の 取り組み

For The Future

新北九州空港と安川電機

2006年3月16日、「新北九州空港」が開港します。周防灘の沖合3キロに建設された海上空港で、連絡橋で陸上とアクセスしています。2500mの滑走路があり、海上空港の特長を生かし、

24時間の運用も可能となっています。新空港開港により各地への便数が大きく増加します。現在の北九州空港は羽田への国内旅客便のみの運行ですが、羽田便の飛行機の大型化、また北九州と名古屋、那覇を結ぶ路線が新設されます。加えて新規航空会社である(株)スターフライヤーが早朝・

深夜も含め羽田行を1日12便運行予定で、さらには中国(上海)やロシア(ウラジオストック)と結ぶ国際線、大型機を使った貨物専用便も就航予定です。

地元北九州に本社を置く企業として、当社も北九州エアターミナル(株)、(株)スターフライヤーへの出資企業に加わっています。

1994年の本格着工以来、10年を超えて建設が進められてきた新空港が完成することにより、当社のビジネスはもとより、北九州地域のヒトやモノの動きの利便性が大きく向上し、北九州地域の一層の活性化、さらなる発展の原動力になるとの期待が寄せられています。

■お問合せ先

人事総務部 総務・法務グループ

Tel 093-645-8801 Fax 093-631-8837



陸上部 NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/index.htm> で公開しています。

秋から冬にかけてはロードレースを中心に、立石選手や中本選手をはじめ若手選手が好記録を出しました。しかし、九州実業団駅伝では初優勝を狙うも、残念ながら4位。一年で最も重要な大会である全日本実業団駅伝(ニューイヤー駅伝)では流れに乗れず21位と、各選手の良い調子がチーム成績につながらないもどかしいレースが続きました。

一方、駅伝シーズンを締めくくる朝日駅伝では、ホンダや日清食品などニューイヤー駅伝上位の強豪チームを抑えてチームベストタイの3位(11年ぶり)と大健闘をみせました。このレース展開

は、前半3区間までトップから数十秒遅れの僅差で粘り、後半区間は小畑選手の区間賞、飛松、中本選手の区間2位の力走で猛追し、最終区で樋山選手が一時先頭に立ちました。最後で1位九電工、2位旭化成に僅かにかわされたものの、本社の有る北九州市内を約10kmの間、果敢に先頭を引っ張り、当社選手の力強さを十分にアピールしました。

この一年間、多大な応援をいただきまして、誠にありがとうございました。昨年は若手選手の伸びが目覚しく、好成績を数多く挙げる事が出来ました。この勢いは今年も続いております。こ

れからも更に好成績を目指しますので、安川電機陸上部の応援をよろしく願います。



ニューイヤー駅伝で力走する立石選手

◆2005年秋以降の主な戦績

日程	大会名	実績
10月11日	10マイル福岡県選手権	バイ選手3位、中本選手自己新記録
11月23日	九州実業団駅伝	4位
12月11日	日田中津駅伝	優勝(9年連続)
12月11日	甲佐10マイルロードレース	立石選手安川新記録、中本選手自己新記録
1月1日	ニューイヤー駅伝	21位(立石選手区間4位の健闘)
1月9日	朝日駅伝	3位(11年ぶりのチーム最高順位。小畑選手区間賞)

選手の声:

12月の甲佐10マイルで安川記録を更新できました。この結果に満足することなく日々、精進していきます。

皆様のご期待に応えられるように頑張りますので、応援をよろしく願います。

(立石 慎士)